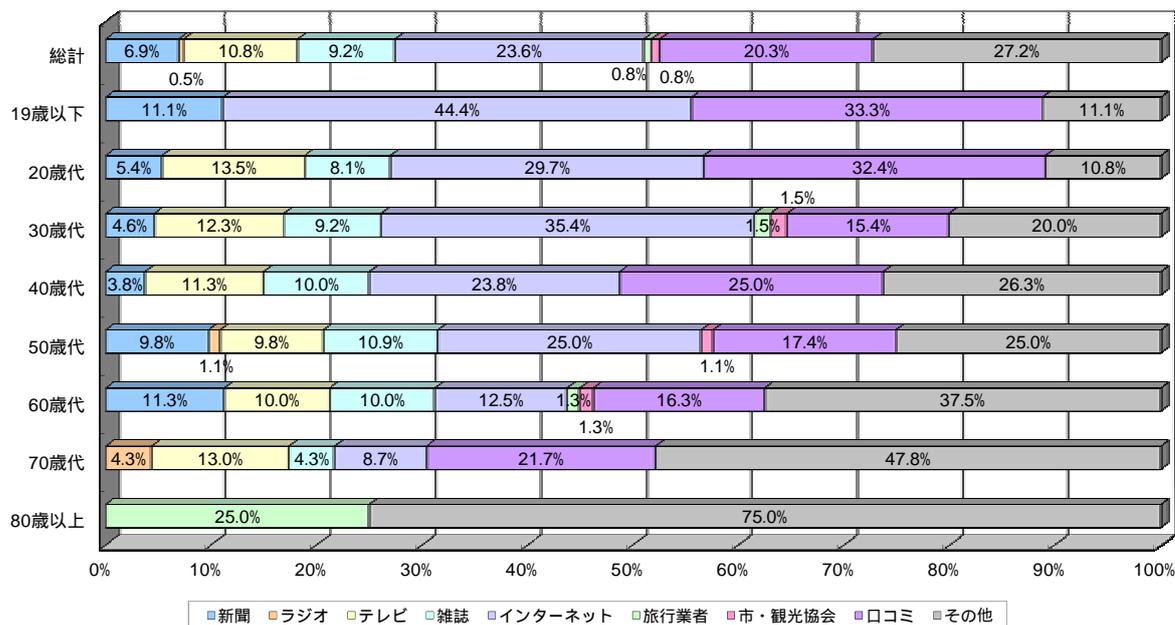


8. 情報入手手段



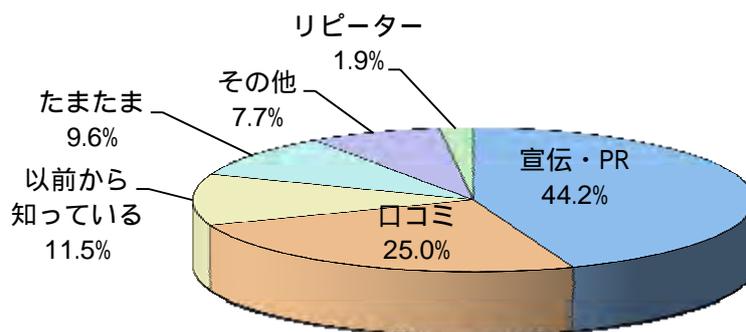
全体

「その他」の割合が多いが、それ以外では「インターネット」での情報収集が目立ち、次いで「口コミ」が多い。「テレビ」「雑誌」が各年代で1割程度ある。

年代別

20歳代～50歳代までは「インターネット」が高い割合となっている。また、60歳代・70歳代でも「インターネット」を利用して情報収集している方が一定数いることがうかがえる。

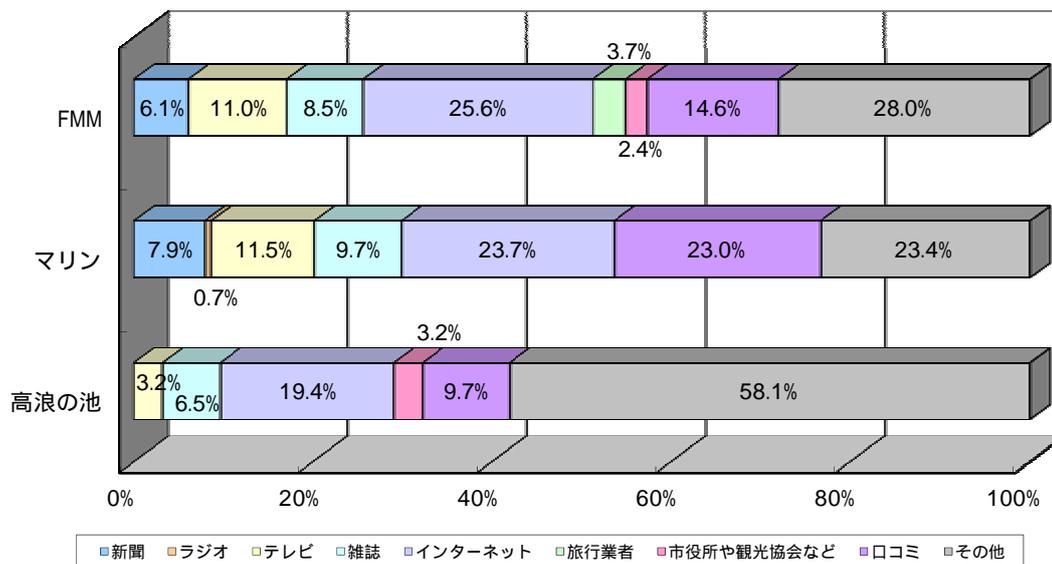
その他の内容について



「その他」の回答の記入欄や自由記入を整理すると、「たまたま・通りすがり」という事前の情報収集に寄らない理由もあり、また、「以前から知っている」という回答も多く、今回の来訪のために特別に情報を集めたわけではない、という傾向もうかがえた。

一方で、チラシ・パンフレット・看板など「宣伝・PR」を見て情報を入手した回答が44.2%あったことから、糸魚川に来て情報を入手した傾向も見受けられる。

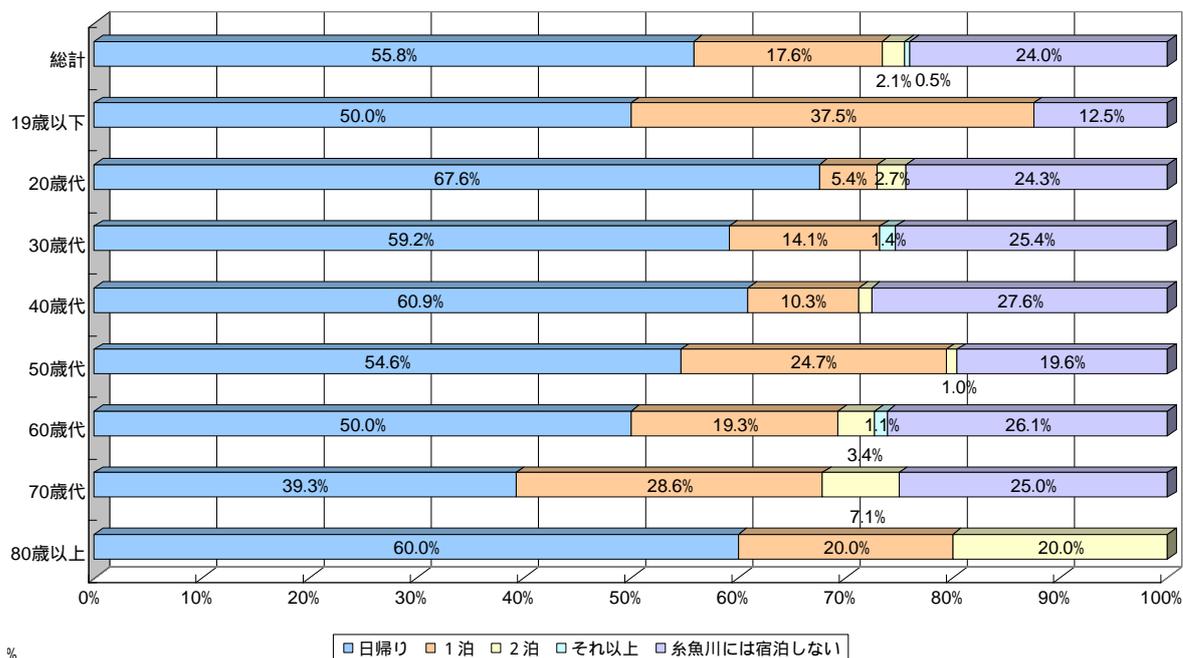
調査ポイント別



「インターネット」での情報入手は、どの調査ポイントでも割合が高かった（その他は除く）。マリンでは、「口コミ」も「インターネット」とほぼ同じだった。

また、フォッサマグナミュージアム、マリンでは、「テレビ」も1割強あった。

9. 宿泊・宿泊施設



全体

「日帰り」の方が55.8%。

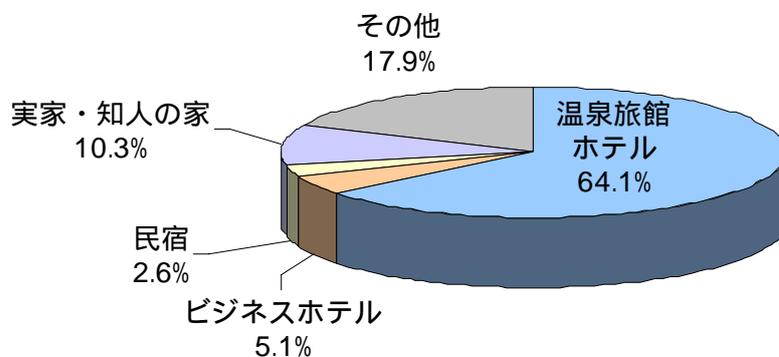
「宿泊する」方は市内に宿泊する方が(計20.2%)と、市外で宿泊する方(24%)と、市外で宿泊の方の割合が多かった。

年代別

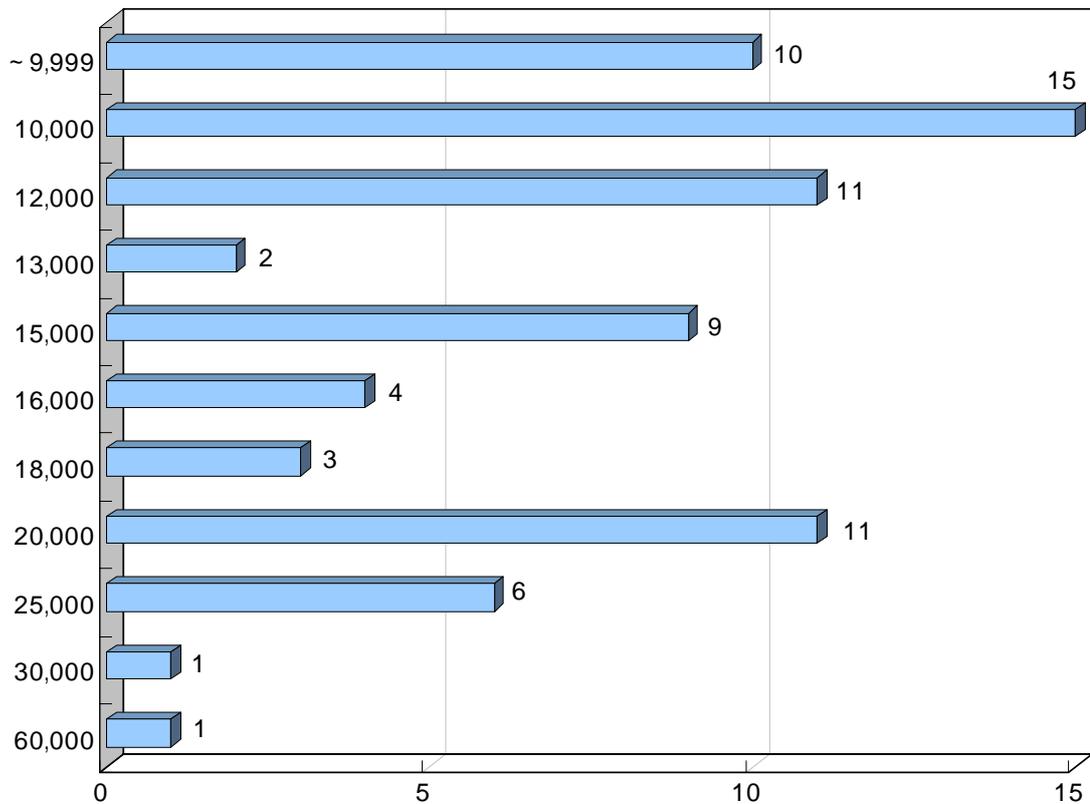
宿泊する方の割合は、年代が上がるほどが増える傾向があり、19歳以下と50歳代以外の年代では、市外での宿泊の割合が多い。

● 市内に宿泊される方に宿泊先をお聞きした

「温泉旅館・ホテル」が52.5%、「実家・知人の家」が15%の割合だった。「その他」の方は、車中泊・キャンピングカーという回答だった。



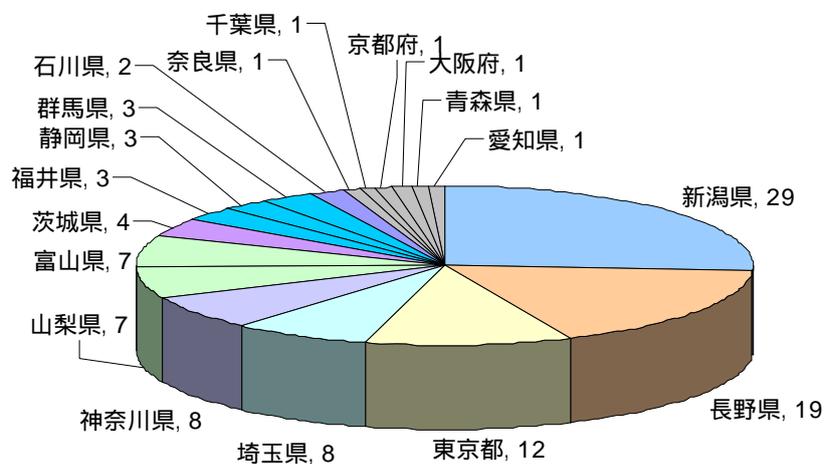
10. 一人あたりの予算 宿泊費



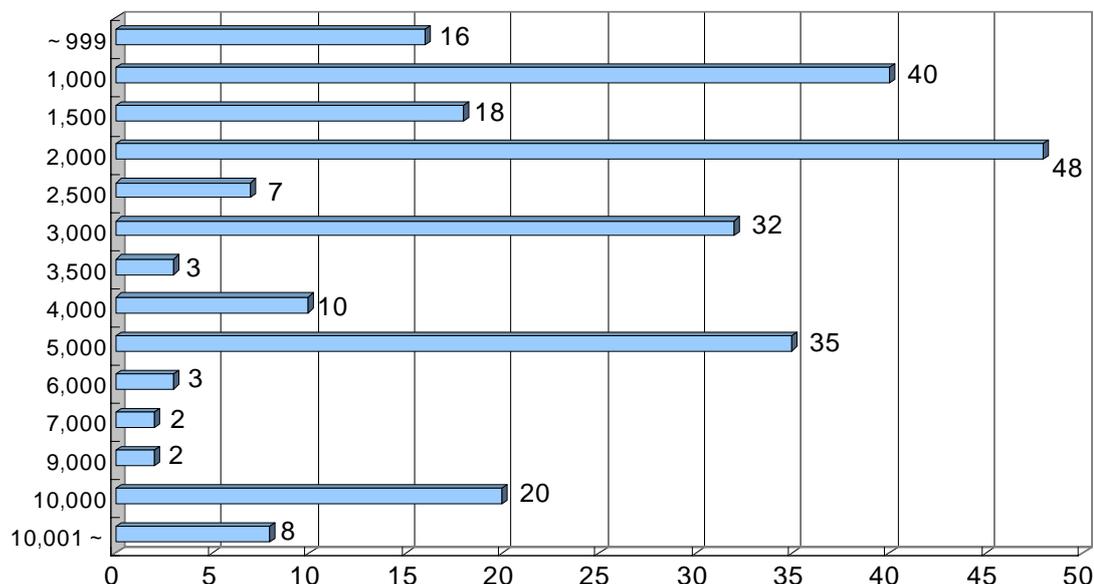
ホテル・旅館・民宿など、宿泊費用が発生する施設への宿泊者のデータ。(回答のあった73サンプル)

- 平均金額 15,356 円
 - 宿泊費の合計 5,528,214 円 (一人あたり宿泊平均金額×宿泊人数 360 名)
- 宿泊費は、10,000 円という方が最も多く、10,000 円未満(6,000 円~8,000 円が多い)という回答の方と合わせると、3 割が 10,000 円以下という結果となった。一方で、20,000 円にもピークがある。最高金額は、6 万円。

宿泊者の出発地は、県内・長野県の割合が多く、関東方面が目立った。また、関西方面からの宿泊者もあり、広い範囲から宿泊を伴った来訪者がいることがわかる。



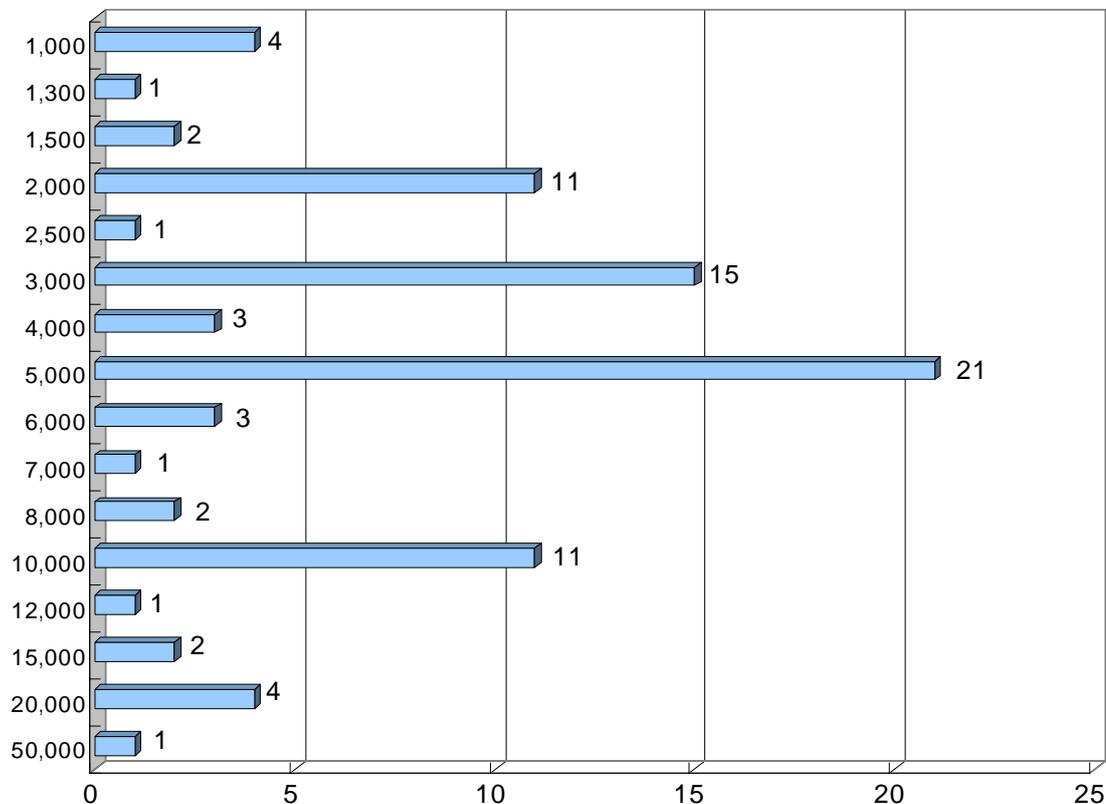
飲食費



- 平均金額 1,160 円 (回答のあった金額を、一緒に来た人数で割った金額の平均)

1,000 円～5,000 円の間でばらつきのある回答となった。具体的なメニューとしては、カニや寿司・海鮮丼、刺身(定食)などをあげる方が多かった。また、ラーメンやブラック焼きそばをあげる方も目立った。

お土産代



- 平均金額 6,240 円

具体的な商品としては、カニや海産物をあげる方がほとんどだった。その他、お菓子屋農産物を上げる方も目立った。

意見など

● 飲食に関すること

フォッサマグナミュージアムでの飲食に関する意見では、「食べる場所を教えて欲しい」という意見が目立った。「ブラック焼きそば」「海産物」などが多く、スタッフは希望のメニューをお聞きし、知っている範囲で情報を伝えた。

ミュージアム周辺に飲食店がないため、「周辺で食べられたらいいのに」という意見も多く寄せられた。また、ミュージアムから、市街地への案内が的確にはできず、国道経由の道を案内することが多かった。

マリンドリーム能生では、「何度もマリンドリームで食事をしているので、ここ以外に食事ができる場所はないか」という問合せも見られた。こちらもスタッフの知っている範囲で対応した。

● お土産に関すること

フォッサマグナミュージアム、マリンドリーム能生では、特に大きな不満の意見は聞かれない一方、欲しいもの（買いたくなるもの）がないという意見や、他にお土産を売っている場所がないかをという質問があった。

マリンドリームでは、カニをはじめとする海産物を買求める方が多く、初めから購入するものを決めている傾向があった。

高浪の池については、後述。

● 消費金額

宿泊費は、平均金額 15,000 円を挟んだ、10,000 円～20,000 円が利用しやすい金額であると考えられる。特に 10,000 円までは気軽に宿泊できる目安となると思われる。

飲食費は、1,160 円という平均単価だった。実際にお話を伺うと、どこでも食べられるものというよりは、「カニを食べに来た」「名物のものを食べたい」という声も多かった。

お土産では、平均が 6,000 円を超え、カニや魚介類を購入する方が多く、それを目当てに来ている傾向がうかがえ、地元のお菓子や野菜・きのこ類などを購入する方が目立った。